

ステロネマ注腸 3mg ステロネマ注腸 1.5mg

【この薬は？】

販売名	ステロネマ注腸 3mg STERONEMA Enema 3mg	ステロネマ注腸 1.5mg STERONEMA Enema 1.5mg
一般名	ベタメタゾンリン酸エステルナトリウム Betamethasone Sodium Phosphate	
含有量 (1容器中)	3.95mg (ベタメタゾンとして 3mg)	1.975mg (ベタメタゾンとして 1.5mg)
容量	100mL	50mL

患者向医薬品ガイドについて

患者向医薬品ガイドは、患者の皆様や家族の方などに、医療用医薬品の正しい理解と、重大な副作用の早期発見などに役立てていただくために作成したものです。

したがって、この医薬品を使用するときに特に知っていただきたいことを、医療関係者向けに作成されている添付文書を基に、わかりやすく記載しています。

医薬品の使用による重大な副作用と考えられる場合には、ただちに医師または薬剤師に相談してください。

ご不明な点などありましたら、末尾に記載の「お問い合わせ先」にお尋ねください。

さらに詳しい情報として、PMDA ホームページ「医薬品に関する情報」
<https://www.pmda.go.jp/safety/info-services/drugs/0001.html> に添付文書情報が掲載されています。

【この薬の効果は？】

- ・この薬は、合成副腎皮質ホルモン剤（ステロイド）と呼ばれるグループに属する注腸剤です。
- ・この薬は、大腸に直接作用し、大腸の炎症部分を改善する働きがあり、潰瘍による症状をやわらげます。ただし、病気の原因そのものを治す薬ではありません。
- ・次の病気の人に処方されます。
限局性腸炎、潰瘍性大腸炎
- ・この薬は、体調がよくなったと自己判断して使用を中止したり、量を減らしたりすると、発熱、頭痛、食欲不振、脱力感、筋肉痛、関節痛、ショックなどの症状があらわれることがあります。指示どおりに使用し続けることが重要です。

【この薬を使う前に、確認すべきことは？】

○次の人は、この薬を使用することはできません。

- ・過去にステロネマ注腸に含まれる成分で過敏症のあった人
- ・デスモプレシン酢酸塩水和物（ミニリンメルト）を夜間多尿による夜間頻尿に使用している男性

○次の人は、特に注意が必要です。使い始める前に医師または薬剤師に教えてください。

- ・感染症にかかっている人
- ・全身の真菌症にかかっている人
- ・消化性潰瘍のある人
- ・精神病の人
- ・結核にかかっている人
- ・単純疱疹性角膜炎の人
- ・後嚢白内障の人
- ・緑内障の人
- ・高血圧の人
- ・電解質異常のある人
- ・血栓症の人
- ・最近、内臓の手術を受けた人
- ・急性心筋梗塞を起こした人
- ・糖尿病の人
- ・骨粗しょう症の人
- ・甲状腺機能が低下している人
- ・脂肪肝の人
- ・脂肪塞栓症の人
- ・重症筋無力症の人
- ・B型肝炎ウイルスキャリアの人
- ・薬物、食物、添加物などに過敏な喘息の人
- ・褐色細胞腫またはパラガングリオーマのある人およびその疑いのある人
- ・腎不全の人
- ・肝硬変の人
- ・妊娠または妊娠している可能性のある人
- ・授乳中の人

○この薬には併用してはいけない薬 [デスモプレシン酢酸塩水和物（ミニリンメルト）（男性における夜間多尿による夜間頻尿）] や、併用を注意すべき薬があります。他の薬を使用している場合や、新たに使用する場合は、必ず医師または薬剤師に相談してください。

【この薬の使い方は？】

この薬は肛門から注入する注腸剤です。決して飲んだりしないでください。

●使用量および回数

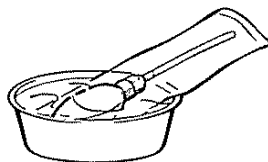
使用量と回数は、あなたの症状などにあわせて、医師が決めます。

通常、成人の使用する量は、1回1～2個です。

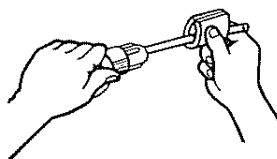
●どのように使用するか？

・本品は薬液の完全密封式構造になっています。ご使用の際は下記に従い、お使い下さい。

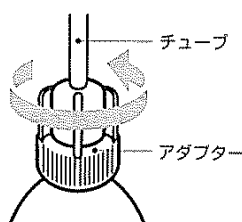
1. アルミ袋のまま温湯につけ、適温（体温程度）にあたためてから容器を取り出します。



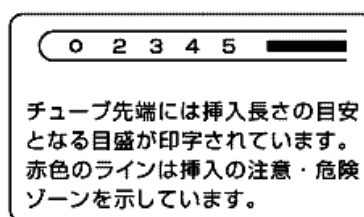
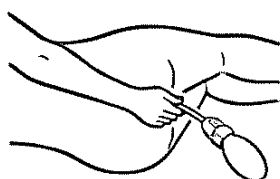
2. 挿入する部分に潤滑剤（オリーブ油、ワセリン、グリセリンなどまたは水）を塗ると滑らかに挿入できます。



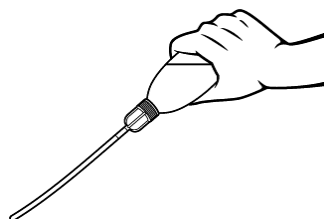
3. チューブを上向きにし、アダプターを左右どちらかに1回転して開封します。回し過ぎてもアダプターがはずれる心配はありません。



4. 左腰を下にした体位でチューブを挿入します。
■チューブ挿入長さの目安は5～7cmです。チューブを「赤ライン」より深く挿入すると、直腸粘膜を傷つけるおそれがあり危険です。
※チューブ挿入の目安は、患者さまごとに変わる場合があります。医師の指示に従ってください。



- ・正しい注入の仕方



- ・容器後方部を高くしながら上図のように容器を持ちゆっくりと注入してください。

- ・容器のアダプター側を強く押さえると薬液がもれる場合があります。
- ・必要に応じて体位変換を行います。

●使用し忘れた場合の対応

決して2回分を一度に使用しないでください。気がついたときに、1回分を使用してください。ただし、次の使用時間が近い場合は1回とばして、次の時間に1回分使用してください。

●多く使用した時（過量使用時）の対応

異常を感じたら医師または薬剤師に相談してください。

【この薬の使用中に気をつけなければならないことは？】

- ・水痘（みずぼうそう）または麻疹（はしか）に感染すると致命的な経過をたどることがあります。感染が疑われる場合はただちに受診してください。
- ・この薬を連用した後、急に使用するのを中止すると、発熱、頭痛、食欲不振、脱力感、筋肉痛、関節痛、ショックなどがあらわれることがあります。中止する場合は徐々に減量されます。医師の指示どおりに使用してください。
- ・この薬を長期あるいは大量に使用している間、または使用中後6ヵ月以内は、免疫機能が低下していることがありますので、生ワクチン〔麻疹、風疹（ふうしん）、おたふく風邪、水痘、BCGなど〕の接種を受けないでください。
- ・この薬の連用により眼圧亢進、緑内障、後嚢白内障になることがあるので、定期的に検査を行うことがあります。
- ・褐色細胞腫があることを認識していなかった状態でベタメタゾン製剤（注射剤）を使用した際に褐色細胞腫クリーゼが発現したとの報告があります。この薬の使用後に著しい血圧上昇、頭痛、動悸（どうき）などの症状があらわれた場合には、速やかに医師に相談してください。
- ・B型肝炎ウイルスキャリアの人は、この薬の使用後や使用終了後に継続して血液検査が行われます。
- ・薬物、食物、添加物などに過敏な喘息の人は、この薬を使用している間、喘息発作が悪化することがありますので特に注意してください。
- ・妊婦または妊娠している可能性がある人は医師に相談してください。
- ・授乳している人は医師に相談してください。
- ・他の医師を受診する場合や、薬局などで他の薬を購入する場合は、必ずこの薬を使用していることを医師または薬剤師に伝えてください。

副作用は？

特にご注意いただきたい重大な副作用と、それぞれの主な自覚症状を記載しました。副作用であれば、それぞれの重大な副作用ごとに記載した主な自覚症状のうち、いくつかの症状が同じような時期にあらわれることが一般的です。

このような場合には、ただちに医師または薬剤師に相談してください。

重大な副作用	主な自覚症状
アナフィラキシー	全身のかゆみ、じんま疹、喉のかゆみ、ふらつき、動悸、息苦しい
誘発感染症、感染症の増悪 ゆうはつかんせんしょう、かんせんしょう	発熱、寒気、体がだるい 〔B型肝炎ウイルスの増殖による肝炎としてあ

重大な副作用	主な自覚症状
のぞうあく	らわれる場合] 体がだるい、吐き気、嘔吐、食欲不振、発熱、上腹部痛、白目が黄色くなる、皮膚が黄色くなる、体がかゆくなる、尿の色が濃くなる
続発性副腎皮質機能不全 ぞくはつせいふくじんひしつきのうふぜん	体がだるい、意識の低下、意識の消失、嘔吐、食欲不振、発熱、冷汗が出る、顔面蒼白（そうはく）、手足が冷たくなる
糖尿病 とうようびょう	体がだるい、体重が減る、喉が渇く、水を多く飲む、尿量が増える
消化管潰瘍 しょうかかんかいよう	吐き気、嘔吐、吐いた物に血が混じる（赤色～茶褐色ときに黒色）、腹痛、胃がむかむかする、黒い便が出る
消化管穿孔 しょうかかんせんこう	吐き気、嘔吐、寒気、発熱、激しい腹痛、ふらつき、息切れ、意識の低下
膵炎 すいえん	強い腹痛、背中の痛み、お腹が張る、吐き気、嘔吐、体重が減る、喉が渇く、尿量が増える、皮膚が黄色くなる、油っぽい下痢が出る
精神変調 せいしんへんちょう	普段とは違う精神状態、幻覚、妄想、興奮抑うつ
うつ状態 うつじょうたい	気分がゆううつになる、悲観的になる、思考力の低下、不眠、食欲不振、体がだるい
痙攣 けいれん	顔や手足の筋肉がぴくつく、一時的にボーっとする、意識の低下、手足の筋肉が硬直しガクガクと震える
骨粗鬆症 こつそしょうしょう	骨折しやすい、腰・背中の痛み、手足の痛み、背が低くなった、背中が丸くなった
大腿骨及び上腕骨等の骨頭無菌性壊死 だいたいこつおよびじょうわんこつなどのこつとうむきんせいえし	脚の付け根の痛み、膝からももへの痛み、腕の付け根の痛み
ミオパチー	筋肉の痛み、筋肉のこわばり、筋力の低下、筋萎縮
緑内障 りよくないしょう	目のかすみ、視力の低下、視野が欠けて狭くなる
後嚢白内障 こうのうはくないしょう	視力の低下、かすんで見える、まぶしい、眼鏡で視力が出ない
血栓症 けっせんしょう	ふくらはぎの痛み・腫れ、手足のしびれ、鋭い胸の痛み、突然の息切れ、押しつぶされるような胸の痛み、激しい頭痛、脱力、まひ、めまい、失神、目のかすみ、舌のもつれ、しゃべりにくい

重大な副作用	主な自覚症状
喘息発作の増悪 ぜんそくほっさのぞうあく	息をするときゼーゼー、ヒューヒューと音がする、息苦しい

以上の自覚症状を、副作用のあらわれる部位別に並び替えると次のとおりです。これらの症状に気づいたら、重大な副作用ごとの表をご覧ください。

部位	自覚症状
全身	ふらつき、発熱、寒気、体がだるい、体がかゆくなる、冷汗が出る、体重が減る、顔や手足の筋肉がびくつく、骨折しやすい、背が低くなった、脱力、まひ
頭部	意識の消失、意識の低下、普段とは違う精神状態、妄想、興奮抑うつ、気分がゆううつになる、悲観的になる、思考力の低下、不眠、一時的にボーっとする、激しい頭痛、めまい、失神
顔面	顔面蒼白
眼	白目が黄色くなる、幻覚、目のかすみ、視力の低下、視野が欠けて狭くなる、かすんで見える、まぶしい、眼鏡で視力が出ない
口や喉	喉のかゆみ、吐き気、嘔吐、喉が渇く、水を多く飲む、吐いた物に血が混じる（赤色～茶褐色ときに黒色）、舌のもつれ、しゃべりにくい
胸部	動悸、息苦しい、息切れ、鋭い胸の痛み、突然の息切れ、押しつぶされるような胸の痛み、息をするときゼーゼー、ヒューヒューと音がする
腹部	食欲不振、上腹部痛、腹痛、胃がむかむかする、激しい腹痛、強い腹痛、お腹が張る
背中	背中痛み、腰・背中痛み、背中が丸くなった
手・足	手足が冷たくなる、手足の筋肉が硬直しガクガクと震える、手足の痛み、脚の付け根の痛み、膝からももへの痛み、腕の付け根の痛み、ふくらはぎの痛み・腫れ、手足のしびれ
皮膚	全身のかゆみ、じんま疹、皮膚が黄色くなる
筋肉	筋肉の痛み、筋肉のこわばり、筋力の低下、筋萎縮
便	黒い便が出る、油っぽい下痢が出る
尿	尿の色が濃くなる、尿量が増える

【この薬の形は？】

販売名	ステロネマ注腸 3mg	ステロネマ注腸 1.5mg
性状	わずかに白濁した粘性の液 (においはない)	
内容量	100mL	50mL
形状	剤形：注腸剤  アダプター：橙色	剤形：注腸剤  アダプター：青色
全長	281mm	256mm

【この薬に含まれているのは？】

販売名	ステロネマ注腸 3mg	ステロネマ注腸 1.5mg
有効成分	ベタメタゾンリン酸エステルナトリウム	
添加剤	カルボキシビニルポリマー、エデト酸ナトリウム、リン酸水素ナトリウム、水酸化ナトリウム	

【その他】

●この薬の保管方法は？

- ・直射日光と湿気を避けて室温（1～30℃）で保管してください。
- ・子供の手の届かないところに保管してください。

●薬が残ってしまったら？

- ・絶対に他の人に渡してはいけません。
- ・余った場合は、処分の方法について薬局や医療機関に相談してください。

【この薬についてのお問い合わせ先は？】

- ・症状、使用方法、副作用などのより詳しい質問がある場合は、主治医や薬剤師にお尋ねください。
- ・一般的な事項に関する質問は下記へお問い合わせください。

製造販売元：日医工株式会社 (<https://www.nichiiko.co.jp>)

くすりの相談窓口の電話番号 TEL (フリーダイヤル)：(0120)039-215

受付時間：9時～17時（土、日、祝祭日その他当社の休業日を除く）